

2015年3月期(第2四半期)

決算説明会

amaze!® YamazeN.

驚きは、山善の中にある。

2014年11月20日



代表取締役社長(COO) 中 田 繞



AGENDA

- I.2015年3月期(第2四半期)決算概要
- Ⅱ. 中期経営計画「A.A.15(ダブルエーイチゴー)」
- Ⅲ. 2015年3月期(通期)業績予想
- IV. 株主還元







I. 2015年3月期(第2四半期)決算概要







1.2015年3月期(第2四半期)連結損益実績①



■ 連結損益計算書

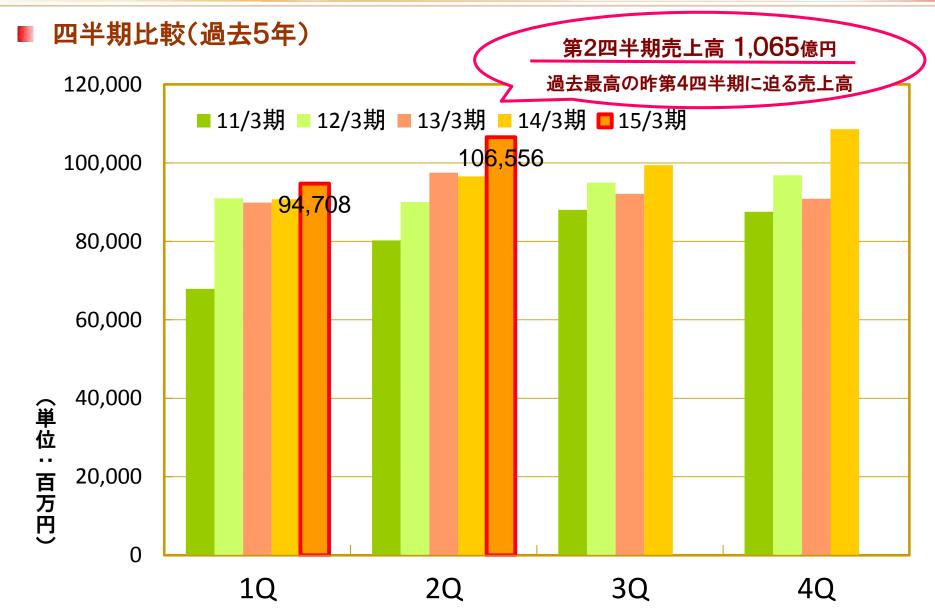
(単位:百万円)	2014年3月期 (第2四半期)	2015年3月期 (第2四半期)	増 減 率 %	公表計画 (期初)	公表計画対 比%
売 上 高	187,259	201,265	7.5	197,000	102.2
売上総利益	23,902	25,739	7.7		_
(総利益率)	(12.8%)	(12.8%)	(+0.0)		
販売管理費	19,891	21,049	5.8		_
営 業 利 益	4,011	4,689	16.9	4,500	104.2
営業外損益	227	119	△47.6		1
経 常 利 益	4,238	4,809	13.5	4,600	104.5
特 別 損 益	3	1			_
四半期純利益	2,648	3,086	16.5	2,900	106.4

> 国内企業の設備更新需要、海外でのIT関連設備投資の増加等で、増収増益。



2. 2015年3月期(第2四半期)連結損益実績②







3. 2015年3月期(第2四半期)連結損益実績③



■ 事業別売上高/公表計画対比

(単位:百万円、%)	2014年3月期 (第2四半期)	2015年3月期 (第2四半期)	前期比 増減率%	公表計画 (期初)	計画 対比%
機 械 事 業 部	26,024	25,626	△ 1.5	27,000	94.9
機 工 事 業 部	54,165	58,898	8.7	59,000	99.8
(国内生産財小計)	80,190	84,525	5.4	86,000	98.3
国際事業本部	38,614	47,602	23.3	41,000	116.1
(生産財関連合計)	118,804	132,127	11.2	127,000	104.0
住 建 事 業 部	29,447	28,453	△ 3.4	30,000	94.8
家庭機器事業部	35,795	37,378	4.4	36,500	102.4
(消費財関連合計)	65,243	65,831	0.9	66,500	99.0
その他部門	3,211	3,306	2.9	3,500	94.5
合 計	187,259	201,265	7.5	197,000	102.2



4. 経常利益の増減要因



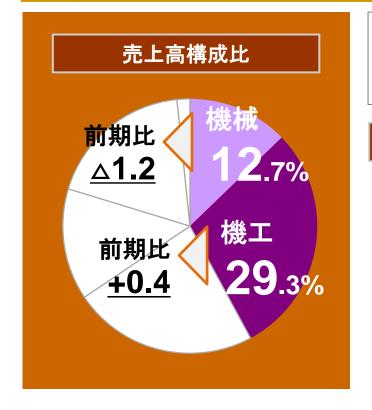
4,809	2014年9月経常利益		<	(単位:百万円)
	売上総利益増加要因	+ 1,837	463	国内生産財事業の増益
	(増益要因)		844	海外生産財事業の増益
			Δ 12	住建事業の減益
			550	家庭機器事業の増益
			Δ8	その他
	販売管理費増加要因	△ 1,158	△ 468	人件費関連増加
+571	(減益要因)		△ 120	運賃増加
(+ <mark>13.5%</mark>)			△ 220	支払手数料増加
			Δ 108	減価償却費の増加
			△ 242	その他販管費の増加
	営業外収益	Δ 108	Δ 12	受取利息減少
	(減益要因)		△ 64	支払利息増加
			△ 32	その他営業外収支差



5. 事業の概況①:国内生産財(機械/機工事業部)



(単位:百万円)			前年同期	2015年3月期(第2四半期)							
生	機	械	事	業	売	上	高	26,024	25,626	(増減率)	△1.5%
産	(玉	内)	営	業系	」益	934	791	利益率	3.1%
生	機	エ	事	業	売	上	高	54,165	58,898	(増減率)	8.7%
財	(玉	内)	営	業系	」益	1,098	1,490	利益率	2.5%



- □ 工作機械は、第3四半期以降の引渡し多く、減収減益になる も、企業の収益改善、補助金・減税効果により受注は堅調。
- □ 機工関連は、切削工具や工場内搬送機器等が好調に推移。







6. 事業の概況②:海外生産財(国際事業本部)



(単位:百万円、%) 前年同			前年同期	2015	年3月期	期(第2四	半期)						
生産財	国	際	事	業	売	ا	Ł	高	38,614	47	7,602	(増減率)	23.3%
財	(海	外)	営	業	利	益	1,592	1	,825	利益率	3.8%



- □ ASEAN地域の回復に弱さが残るも、中国でのEMS業界からの新規受注もあり、前年同期を大きく上回る。
- □ 中華圏統合システムの稼動。
- □ 人員の先行投資を継続中:エンジニア239名、事業本部総 人員1,053名。

四半期売上高推移(直近3年)

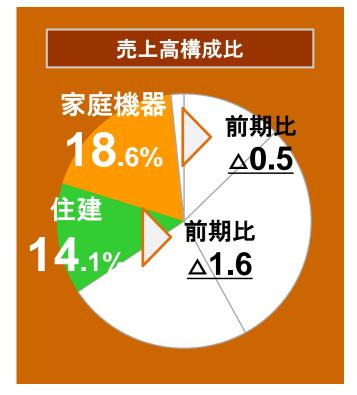




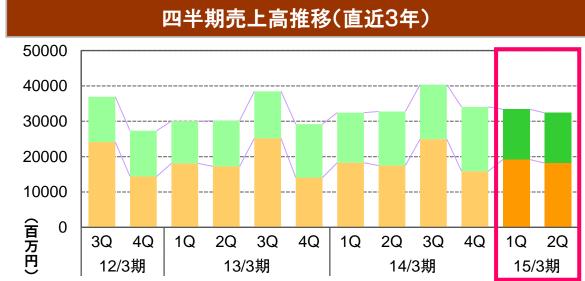
7. 事業の概況③:消費財関連(住建/家庭機器事業部)



	(単位:百万円)			前年同期	2014年3月期(第2四半期)		
消	<i>计</i> 建	売	高	29,447	28,453	(増減率)	△3.4%
費	住建事業	営 業 利	益	828	755	利益率	2.7%
貝	安存继史审举	売	高	35,795	37,378	(増減率)	4.4%
財	家庭機器事業	営 業 利	益	489	686	利益率	1.8%



- □ <u>住建</u>は、消費増税の反動による新築・リフォーム需要低迷から総じて厳しい状況も、広域店向け営業等に注力。
- □ 家庭機器は天候不順に苦しむも全体としては堅調に推移。





8. 財務の状況、キャッシュフロー



■ 貸借対照表

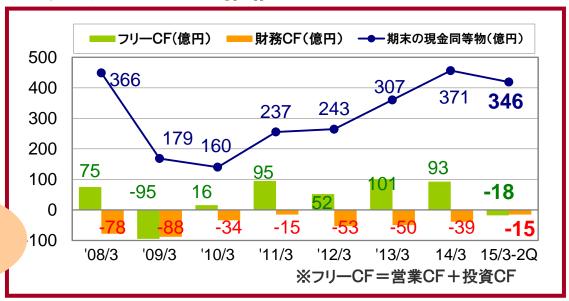


(2014年9月末現在/単位:億円)

■ 有利子負債/純資産推移



■ キャッシュフロー推移





Ⅱ. 中期経営計画「A.A.15」の進捗







1. ビジョン、中期的経営方針





収益力 向上 財務体質強化

amaze!® YamazeN.

驚きは、山善の中にある。



ものづくりに貢献し、快適な生活空間で"Amaze"を提供する存在感ある専門商社へ!



2. 「15」のアクション: 重点投資項目





Amazing Act 2015

2016年3月期 売上高 4,500億円 経常利益 150億円 商品データヘース拡充 OtoOマーケティンク

Greenball Project

環境ビジネスの発展

ターンキー&ブリッジ

国際ビジネス連携

<u>次世代&海外</u> マネージャーの育成

生産性の向上 ワークスタイル改革

> 連結配当性向向上 株主還元

中華圏統合システム クローハルマーケティンク

海外デジタル化構想

機工の海外展開

No.1専門商社へ 市場シェア向上 ナショナルスタッフ1000名へ

海外エンジニア育成

メカトロ機器拡大

S.I.の拡充

技術的コンサルカの向上

有資格者充実

物流資産の最適化 物流イノベーション

変化に柔軟な組織作り次世代への取り組み

変化に対応する基盤作り

販売ルート多様化



3.「A.A.15」3ヵ年定量計画(連結)①



■ 損益計画(公表)

(単位:百万円) ^{2013年3月期} (実績)		2014年	3月期	20 ⁻	2016年3月期		
		(実績) (当初計画)		(今回見直し) (期初見直し)		(当初計画)	(計画)
売 上 高	370,338	395,249	385,000	420,000	410,000	420,000	450,000
営 業 利 益	9,756	9,562	10,000	11,300	11,000	12,000	14,500
経 常 利 益	10,351	9,838	10,500	11,500	11,300	12,500	15,000
当期純利益	6,249	5,515	6,300	7,200	7,000	7,500	9,000

■ 主要財務指標(公表)

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年	3月期	20 ⁻	2016年3月期		
(十四,日/311)	(実績)	(実績)	(当初計画)	(今回見直し)	(期初見直し)	(当初計画)	(計画)
売上高営業利益率	2.6%	2. 4%	2.6%	2.6%	2.6%	2.9%	3. 2%
総資産営業利益率 (R O A)	6. 1%	5. 6%	6.2%	6. 2%	6.2%	7.0%	8.0%
総資本回転率	2.3回	2.3回	2.4回	2. 4回	2.4回	2.4回	2.5回
流動比率	130%	131%	133%	135%	135%	135%	140%



4. 「A.A.15」3ヵ年定量計画(連結)②



■ 事業別売上高計画

(単位:百万円、%)	2013年3月期 (実績)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (今回見直し)	2016年3月期 (計画)	'13/3期比 成長率
機械事業部	52,640	59,982	60,000	60,000	114%
機工事業部	107,618	114,557	122,000	135,000	125%
(国内生産財小計)	160,259	174,540	182,000	195,000	122%
国際事業本部	75,548	74,375	93,000	91,000	121%
(生産財関連合計)	235,807	248,915	275,000	286,000	121%
住 建 事 業 部	53,337	63,064	60,000	66,000	124%
家庭機器事業部	74,592	76,625	78,000	90,000	121%
(消費財関連合計)	127,929	139,689	138,000	156,000	122%
その他部門	6,600	6,644	7,000	8,000	121%
合 計	370,338	395,249	420,000	450,000	122%



5.「A.A.15」3ヵ年定量計画(連結)③



■ 設備投資計画

(単位:百万円)	2013年3月期 (実績)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (見直し)	2016年3月期 (見直し)	3年,	累計 (当初計画)
有形固定資産 新規投資額	1,166	776	239	200	1,215	1,301
無形固定資産新規投資額	419	988	988	386	2,362	2,681
単体(キャッシュ・ベース)	1,585	1,764	1,227	586	3,577	3,982
連結(キャッシュ・ベース)	120	288	233	204	725	480
連結計(キャッシュ・ベース)	1,705	2,052	1,460	790	4,302	4,462
有形固定資産減価償却費	314	387	445	451	1,283	1,214
無形固定資産減価償却費	452	444	539	601	1,584	1,850
単体(減価償却ベース)	766	831	984	1,052	2,867	3,064
連結(減価償却ベース)	94	118	151	148	417	286
連結計(減価償却ベース)	860	949	1,135	1,200	3,284	3,350



皿. 2015年3月期(第69期)業績予想







1. 2015年3月期(第69期)定量計画①





堅調な国内外の設備投資需要を背景に、更なる"増収増益"を目指す。

(単位:百万円)	2014年3月	朝(第68期)	2015年3月期(第69期)				
(単位・日クロ)	2Q実績	通期実績	2Q実績	増減率%	通期計画	増減率%	
売 上 高	187,259	395,249	201,265	7.5	420,000	6.3	
く 単 体 >	169,302	359,149	180,652	6.7	380,000	5.8	
営 業 利 益	4,011	9,562	4,689	16.9	11,300	18.2	
< 単 体 >	2,968	7,449	3,383	14.0	8,900	19.5	
経 常 利 益	4,238	9,838	4,809	13.5	11,500	16.9	
< 単 体 >	3,124	7,577	3,438	10.0	9,000	18.8	
当期純利益	2,648	5,515	3,086	16.5	7,200	30.6	
< 単 体 >	1,894	4,046	2,114	11.6	5,500	35.9	



2. 2015年3月期(第69期)定量計画②:国内生産財



(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
₩ ₩ 車 ** 並	10-3※	34,374	1.2	1,659	10.4	4.8
機械事業部	通期	60,000	+0.0	2,450	0.5	4.1
	10-3※	63,102	4.5	1,810	15.4	3.0
機工事業部	通期	122,000	6.5	3,300	23.7	2.7

※通期計画より2Q実績を差し引いた値です。

国内生産財「A.A.15」 3ヵ年売上計画 250,000 機械 ■機工 200,000 60,000 60,000 150,000 59,982 52,640 100,000 135,000 122,000 107,618. 50,000 (百万円) 0 '13/3 '14/3 '15/3 '16/3期

■ 機工/カテゴリー別売上計画

	カテゴリー	'14/9	'15/3	進捗率
1	マテハン	6,743	14,000	48%
2	メカトロ	7,740	16,500	47%
3	環境改善機器	2,427	7,400	33%
4	切 削・補 要	10,937	23,000	48%
⑤	測 定・計 測	2,864	6,200	46%
6	流体機器	3,950	7,500	53%
7	産 業 機 器	15,982	32,000	50%
8	空調設備機器	2,082	3,100	67%
9	その他	6,134	12,300	50%

(単位:百万円)



3. 2015年3月期(第69期)定量計画③:海外生産財



(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
国際事業本部	10-3※	45,398	26.9	1,675	47.8	3.7
四 际 尹 未 本 可	通期	93,000	25.0	3,500	28.4	3.8

※通期計画より2Q実績を差し引いた値です。

海外生産財「A.A.15」 3ヵ年売上・人員計画



■ 支社別売上計画

	カテゴリー	'14/9	'15/3	進捗率
1	U S A 支 社	4,553	10,000	46%
2	台 湾 支 社	14,052	25,000	56%
3	南アセアン支社	3,142	6,500	48%
4	北アセアン支社	5,997	14,000	43%
⑤	中国支社	13,141	22,000	60%
6	SE他地域	6,717	15,500	43%

■ 部門別売上計画

	カ [.]	テゴリ	_	'14/9	'15/3	進捗率
1	機		械	33,941	62,000	55%
2	機		エ	8,357	18,500	45%
3	S	E	他	5,304	12,500	42%

(単位:百万円)



4. 2015年3月期(第69期)定量計画④:消費財



(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
住建事業部	10-3※	31,547	△6.2	945	△29.6	3.0
住 建 事 業 部	通期	60,000	△4.9	1,700	△21.7	2.8
京 庆 楼 史 审 类 却	10-3※	40,622	△0.5	1,414	22.2	3.5
家庭機器事業部	通期	78,000	1.8	2,100	27.6	2.7

※通期計画より2Q実績を差し引いた値です。

消費財「A.A.15」3ヵ年売上計画



■ 住建/カテゴリー別売上計画

	カテゴリー	'14/9	'15/3	進捗率
1	水廻り・給湯	9,775	22,000	44%
2	環境・空調・太陽光	12,139	24,000	51%
3	建設資材・他	6,539	14,000	47%

■ 家庭機器/PB売上計画

	カテゴリー	'14/9	'15/3	進捗率
1	生 活 家 電	13,421	30,404	44%
2	インテリア	4,318	10,000	43%
3	エクステリア・レシ゛ャー	3,927	6,570	60%
4	工具・園芸	2,354	4,570	52%

(単位:百万円)



5. 事業セグメント別損益計画まとめ



(畄4	立:百万円)		生 産 財		消	消費財		合 計
(+ 12 · 12 / 2 / 1 /		機械	機 エ	国 際	住 建	家庭機器	その他	H H
売	前期実績	59,982	114,557	74,375	63,064	76,625	6,644	395,249
Ł	当期計画	60,000	122,000	93,000	60,000	78,000	7,000	420,000
高	前期対比	100.0%	106.5%	125.0%	95.1%	101.8%	105.4%	106.3%
営	前期実績	2,437	2,667	2,725	2,170	1,646	△2,085	9,562
_	(利益率)	4.1%	2.3%	3.7%	3.4%	2.1%	_	2.4%
業	当期計画	2,450	3,300	3,500	1,700	2,100	△1,750	11,300
利	(利益率)	4.1%	2.7%	3.8%	2.8%	2.7%	_	2.7%
	前期対比	100.5%	123.7%	128.4%	78.3%	127.6%	_	118.2%
益	(増減率)	±0.0%	0.4%	0.1%	△0.6%	0.6%	_	0.3%



IV. 株主還元







1. 基本方針



□利益配分に関する基本的な考え方

- ✓ 当社は、財務基盤の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様への 安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、利益還元を行うことを基 本方針としておりますが、中期経営計画の最終年度においては連結配当性向 の目標を30%に順次引き上げるよう取組んでまいります。
- ✓ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業 発展に繋がる有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通 じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

■ 配当金の推移

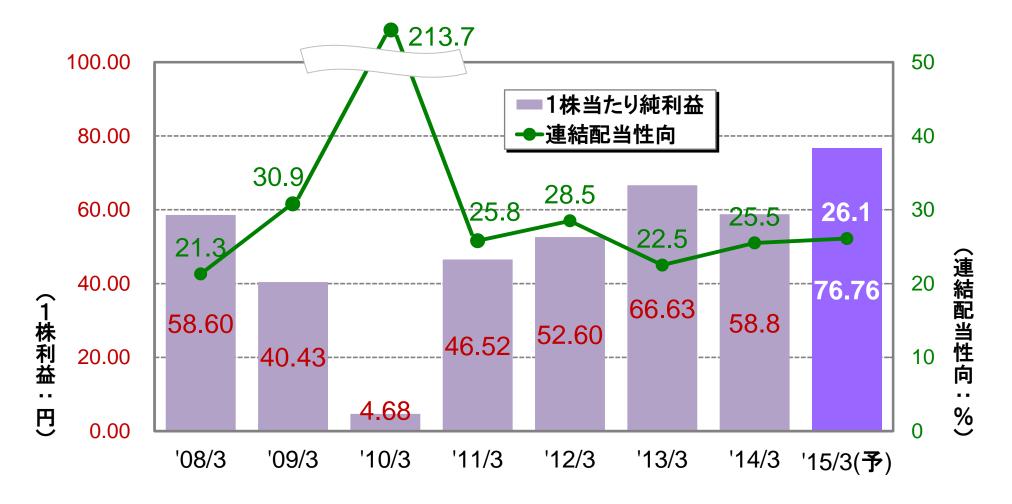
		'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3予
連結配当性向(%)		21.3	30.9	213.7	25.8	28.5	22.5	25.5	26.1
配当金額	中間	5.0	5.0	5.0	5.0	7.0	7.0	7.0	8.0
(円)	期末	7.5	7.5	5.0	7.0	8.0	8.0	8.0	12.0



2. 当期の配当



- ▶ 連結配当性向:26.1%を予定。
- ▶ 配当金額:中間8.0円+期末12.0円=年間20.0円









この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

本資料、個別ミーティングに関するお問合わせ先

経営企画本部 経営企画部 広報・IR室

TEL: 06 - 6534 - 3095 / FAX: 06 - 6534 - 3280

e-mail: info06@yamazen.co.jp